今月の情報連絡員さん

HOT いんたびゅう INTERVIEW

上田（うえだ）　学（まなぶ）さん
（三重県酒造協同組合連合会）

このページでは、組合等の業界の景気動向を毎月当中央会へ情報提供していただいている情報連絡員さんにプライベートを含めてお話を伺っています。

組合と私！

私は、本年5月の総会で当組合の専務理事に就任し、2名の女性とともに組合業務に従事しています。

全く経験の無い職場に入り、専務理事としてまだ日も浅く組合業務、業界の現状等について2名の女性にサポートを受けながら優しく時には厳しく教えて頂き日々勉強の毎日です。

今後も組合と酒造メーカーとの連絡強調体制がスムーズに行えるよう意見を聞き、各酒造メーカーの現状把握や情報提供に努めてまいります。

また、外部団体等のイベント等に参画する際には、酒蔵と主催者との橋渡し役も担っています。

業界の現況は？

県内の酒蔵は現在39で、10年前には54あった酒蔵ですが、厳しい環境と後継者不足等から減少しています。

お酒の出荷量も、昭和48年をピークに年々減少していましたが、平成22年に減少傾向が止まり平成23年から若干ではありますが上向きに転じています。

この厳しい環境の中、風土また、酒造りに適した「三重（伊賀）山田錦」、「神の穂」等当県内で収穫された良質な米を原料として、更に鈴鹿山系伏流水や宮川伏流水等の上質な水にも恵まれた中で酒造りに励んでいます。

毎年9月には、地酒振興を目的として「三重の酒を楽しむ会」と題し、三重県内の蔵元（清酒製造メーカー）が参加し各蔵元自慢のお酒のＰＲと試飲するイベントを開催しています。今年も多数の入場者で盛り上がり入場券も完売となり、多数の女性の参加もしていただきました。

情報連絡員として心がけていることは？

組合員さんが、組合事務所に来られた時にいろいろと現状などの話を伺ったり、毎月定期報告がありますので報告内容から現状の情報収集を行い、また各蔵元とのコミニュケーションに努め、組合と蔵元との風通しの良い関係作りを心がけています。

休日等の楽しみ方は？

健康維持のために1時間程度ウオーキングをしています。平日の通勤時には、約40分かかる1駅分を歩くことがあります。ウオーキング以外に、たまにですが、ゴルフも楽しみますよ。

ひとこと！

これから、お酒造りの最盛期を迎え、酒蔵の軒下に青い杉玉が飾られたら“新酒ができましたよ！”という合図です。2～3月には、おいしい新酒ができあがります。また、酒蔵では、蔵見学や蔵開放を行う所もありますので、蔵元に事前連絡していただき、お酒の魅力に触れて、美味しいお酒をお楽しみください。

ただし、くれぐれも飲み過ぎには注意してください。

・未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

・お酒は20歳になってから。

三重県酒造協同組合連合会（平成24年11月～平成25年10月）前年同月比

★売上・受注額

24/11	12	25/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

★収益状況

24/11	12	25/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	→	→	→